



## 2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月1日

上場会社名 (株) 東京放送ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 9401 URL <http://www.tbsholdings.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐々木 卓  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理局経理部長 (氏名) 小杉 尚 TEL 03-3746-1111  
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	88,488	△0.3	4,985	2.4	10,098	1.0	6,503	△3.0
2019年3月期第1四半期	88,783	0.9	4,868	△25.9	9,994	△7.9	6,704	△9.0

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 6,067百万円 (△59.2%) 2019年3月期第1四半期 14,860百万円 (△51.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	37.27	—
2019年3月期第1四半期	38.38	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	788,491	603,009	74.4
2019年3月期	798,481	601,291	73.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 586,416百万円 2019年3月期 584,614百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	16.00	—	17.00	33.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期 (予想)	—	13.00	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	364,800	△0.4	15,500	△16.5	24,300	△15.7	14,900	△40.9	85.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	174,709,837株	2019年3月期	174,709,837株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	590,205株	2019年3月期	43,205株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	174,508,620株	2019年3月期1Q	174,668,027株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
3. 補足情報 .....	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年6月30日）におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移したものの、通商問題の動向が世界経済に与える影響や金融資本市場の変動の影響など、依然として不透明な状況が続いています。

こうした環境下、テレビ広告市況はスポット広告費の関東地区投下量が前年同期比96.6%と大変厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当第1四半期連結累計期間における当社グループの連結売上高は、スポット収入が5局シェアの伸長に伴い増収となり、また化粧品販売が堅調なスタイリングライフグループの増収があった一方で、前年の大型スポーツ単発の反動によりタイム収入や無料動画配信収入が減収となったことなどにより、884億8千8百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

売上原価と販売費及び一般管理費を合わせた営業費用は、前年の大型スポーツ単発に係る制作費や放送権料の反動減などにより、835億2百万円（前年同期比0.5%減）となりました。

この結果、営業利益は49億8千5百万円（同2.4%増）となりました。また、経常利益は100億9千8百万円（同1.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は特別損失に投資有価証券評価損が計上されたことなどにより65億3百万円（同3.0%減）となりました。

当社は2019年5月14日開催の取締役会において、セグメント区分を変更することを決議いたしました。

前連結会計年度において「放送事業」、「映像・文化事業」、「不動産事業」としていたものを、当第1四半期連結累計期間より「メディア・コンテンツ事業」、「ライフスタイル事業」、「不動産・その他事業」に変更いたしました。

報告セグメントの業績の状況は以下の通りであります。なお、前第1四半期連結累計期間の数値については変更後の区分により作成したものを記載しております。

	売上高			セグメント利益		
	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減 (%)	前第1四半期 連結累計期間 (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (百万円)	増減 (%)
メディア・コンテンツ事業	67,420	66,862	△0.8%	1,989	2,454	23.4%
ライフスタイル事業	17,323	17,510	1.1%	696	473	△32.1%
不動産・その他事業	4,038	4,115	1.9%	2,180	2,057	△5.7%
調整額	-	-	-	0	0	-
合計	88,783	88,488	△0.3%	4,868	4,985	2.4%

◇メディア・コンテンツ事業セグメント

メディア・コンテンツ事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は668億6千2百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益は、24億5千4百万円（同23.4%増）となりました。

㈱TBSテレビのテレビ部門の当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、3億2千6百万円減収の459億3千7百万円（前年同期比0.7%減）となりました。このうち、タイム収入が211億2千2百万円（前年同期比2.1%減）、スポット収入が212億1千8百万円（同1.1%増）、国内番販や無料動画配信での広告収入を含むコンテンツ収入が25億2千4百万円（同5.3%減）となりました。タイム収入については、レギュラー番組が堅調に推移しましたが、前年の「2018 FIFA ワールドカップ ロシア」の売上をカバーするには至りませんでした。スポットセールスについては、広告主の関東地区投下量が前年同期比3.4%減と低調に推移する中、5局シェアは20.2%と前年同期比で0.9ポイントの増加となり、前年を上回る実績をあげました。コンテンツ収入については、無料動画配信での前年のワールドカップ広告収入の反動もあり減収となりました。

㈱TBSテレビの事業部門の当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、7億1千2百万円減収の60億9千3百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

催事・興行では、アジア初の360度シアターである「IHIステージアラウンド東京」において、「BOUM! BOUM! BOUM! 香取慎吾NIPPON初個展」が、6月に千秋楽を迎え、大好評のうちに幕を閉じましたが、前年の「髑髏城の七人」シリーズや「スターズ・オン・アイス2018」の反動減により減収となりました。

海外事業では、「SASUKE」などのフォーマット販売が好調であったのに加え、「集団左遷!!」や「わたし、定時で帰ります。」などのドラマ番販等も好調で増収となりました。メディア事業は、動画配信事業が好調でしたが、CS事業の不調により、メディア事業トータルでは微減収となりました。ライセンス事業は、商品化が不調だったことや、前年好調であったドラマ「アンナチュラル」のDVDセールスの反動などにより減収となりました。

㈱BS-TBSの当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、タイムレギュラーが伸長したことや、ショッピング番組が堅調に推移したことにより、2億1百万円増収の42億3千9百万円（前年同期比5.0%増）となりました。

㈱TBSラジオの当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、ラジオ広告市況が厳しい状況であったものの、1千4百万円増収の24億3千9百万円（前年同期比0.6%増）となりました。

費用面において、前年の大型スポーツ単発に係る制作費や放送権料反動減などがあり、同セグメントにおける営業利益は4億6千5百万円増益となる24億5千4百万円（前年同期比23.4%増）となりました。

#### ◇ライフスタイル事業セグメント

ライフスタイル事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は、175億1千万円（前年同期比1.1%増）、営業利益は4億7千3百万円（同32.1%減）となりました。

㈱スタイリングライフ・ホールディングスで、中核の小売事業「プラザスタイルカンパニー」における化粧品の売上や、通信販売事業「ライトアップショッピングクラブ」における衣料品の売上が伸張したことなどにより増収となりました。費用面では、化粧品事業を展開する「CPコスメティクス」における販売費の増加などにより減益となりました。

#### ◇不動産・その他事業セグメント

不動産・その他事業セグメントの当第1四半期連結累計期間の売上高は41億1千5百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益20億5千7百万円（同5.7%減）となりました。

収入面では、赤坂Bizタワーが引き続き高い稼働を維持していることや、当社敷地に隣接するビル「ザ・ヘキサゴン」の収入が加わったことなどにより増収となりました。費用面においては、修繕費などが増加したことにより減益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は7,884億9千1百万円で、前連結会計年度末に比べて99億8千9百万円の減少となりました。現金及び預金が配当金の支払いや有形固定資産の取得等により111億1千5百万円減少、受取手形及び売掛金が43億5千9百万円減少した一方、建設仮勘定の増加により有形固定資産が42億3千6百万円増加したこと等によります。

#### (負債)

負債合計は1,854億8千2百万円で、前連結会計年度末に比べて117億7百万円の減少となりました。未払消費税等が7億7千9百万円増加、保有する株式の時価の上昇に伴い繰延税金負債が6億2千2百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が24億2千4百万円減少、未払金が43億2千6百万円減少、未払法人税等が62億1千9百万円減少、賞与引当金が32億9千6百万円減少したこと等によります。

#### (純資産)

純資産合計は6,030億9百万円で、前連結会計年度末に比べて17億1千8百万円の増加となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や配当金の支払い等により利益剰余金が差し引き33億7千1百万円増加した一方、自己株式の取得に伴い自己株式が10億円増加、その他有価証券評価差額金が4億9千2百万円減少したこと等によります。

この結果、自己資本比率は74.4%、1株当たりの純資産は3,367円90銭円となっております。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上、利益とも、概ね期首の想定範囲内で推移いたしました。

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	72,293	61,177
受取手形及び売掛金	42,942	38,583
有価証券	700	600
商品及び製品	8,832	9,107
番組及び仕掛品	5,985	7,260
原材料及び貯蔵品	722	724
前払費用	8,644	9,520
その他	4,222	4,650
貸倒引当金	△151	△176
流動資産合計	144,192	131,448
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	208,008	208,165
減価償却累計額	△115,140	△116,541
建物及び構築物 (純額)	92,867	91,623
機械装置及び運搬具	84,783	84,079
減価償却累計額	△73,152	△73,180
機械装置及び運搬具 (純額)	11,631	10,899
工具、器具及び備品	31,430	31,416
減価償却累計額	△28,777	△28,815
工具、器具及び備品 (純額)	2,652	2,600
土地	96,821	96,820
リース資産	4,159	4,187
減価償却累計額	△2,797	△2,890
リース資産 (純額)	1,362	1,296
建設仮勘定	1,096	7,427
有形固定資産合計	206,431	210,667
無形固定資産		
ソフトウェア	5,732	5,450
のれん	15,002	14,553
リース資産	17	13
その他	1,377	1,432
無形固定資産合計	22,128	21,448
投資その他の資産		
投資有価証券	411,453	411,259
長期貸付金	204	193
繰延税金資産	2,541	1,922
長期前払費用	245	227
その他	11,477	11,516
貸倒引当金	△192	△191
投資その他の資産合計	425,728	424,926
固定資産合計	654,289	657,043
資産合計	798,481	788,491

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	37,780	35,355
短期借入金	80	—
1年内返済予定の長期借入金	1,200	1,200
未払金	14,388	10,062
未払法人税等	7,894	1,675
未払消費税等	1,355	2,134
未払費用	2,059	1,875
賞与引当金	5,059	1,762
役員賞与引当金	126	19
その他の引当金	393	406
その他	9,760	13,011
流動負債合計	80,099	67,501
固定負債		
長期借入金	1,800	1,800
環境対策引当金	127	127
退職給付に係る負債	15,770	15,561
リース債務	433	426
繰延税金負債	83,268	83,890
その他	15,690	16,173
固定負債合計	117,090	117,980
負債合計	197,189	185,482
純資産の部		
株主資本		
資本金	54,986	54,986
資本剰余金	46,751	46,751
利益剰余金	281,372	284,744
自己株式	△57	△1,058
株主資本合計	383,053	385,424
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	201,539	201,046
繰延ヘッジ損益	25	△5
為替換算調整勘定	△2	△25
退職給付に係る調整累計額	△2	△24
その他の包括利益累計額合計	201,560	200,992
非支配株主持分	16,677	16,592
純資産合計	601,291	603,009
負債純資産合計	798,481	788,491

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	88,783	88,488
売上原価	61,018	60,214
売上総利益	27,765	28,274
販売費及び一般管理費	22,897	23,288
営業利益	4,868	4,985
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	4,624	4,470
持分法による投資利益	—	34
その他	735	696
営業外収益合計	5,365	5,206
営業外費用		
支払利息	89	6
為替差損	14	22
固定資産除却損	16	11
固定資産圧縮損	52	—
持分法による投資損失	28	—
その他	37	53
営業外費用合計	238	93
経常利益	9,994	10,098
特別利益		
投資有価証券売却益	40	—
特別利益合計	40	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	171
特別損失合計	—	171
税金等調整前四半期純利益	10,035	9,926
法人税、住民税及び事業税	1,894	1,813
法人税等調整額	1,221	1,478
法人税等合計	3,116	3,291
四半期純利益	6,919	6,634
非支配株主に帰属する四半期純利益	214	130
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,704	6,503



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	6,919	6,634
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,805	△486
繰延ヘッジ損益	74	△17
為替換算調整勘定	28	△22
退職給付に係る調整額	△4	△20
持分法適用会社に対する持分相当額	37	△20
その他の包括利益合計	7,941	△567
四半期包括利益	14,860	6,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14,643	5,935
非支配株主に係る四半期包括利益	216	132

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	67,420	17,323	4,038	88,783	—	88,783
セグメント間の内部売上 高又は振替高	35	0	1,282	1,318	△1,318	—
計	67,456	17,323	5,321	90,102	△1,318	88,783
セグメント利益	1,989	696	2,180	4,867	0	4,868

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア・ コンテンツ事業	ライフ スタイル事業	不動産・ その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	66,862	17,510	4,115	88,488	—	88,488
セグメント間の内部売上 高又は振替高	38	0	1,283	1,322	△1,322	—
計	66,901	17,510	5,398	89,810	△1,322	88,488
セグメント利益	2,454	473	2,057	4,985	0	4,985

(注) 1. セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は2019年5月14日開催の取締役会において、セグメント区分を変更することを決議いたしました。

当社グループは「グループ中期経営計画2020」で発表しておりますとおり、「グループの構造を見直し、グループの力を結集」し、コンテンツ力の充実を図り、総合メディアの多様化に挑戦すべく、グループ再編を行ってまいりました。このグループ再編を受け、よりの確な意思決定を行うことを目的にセグメント区分を変更することといたしました。

前連結会計年度において「放送事業」、「映像・文化事業」、「不動産事業」としていたものを、当連結会計年度より「メディア・コンテンツ事業」、「ライフスタイル事業」、「不動産・その他事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しております。

3. 補足情報

㈱TBSテレビ事業収入の内訳 (第1四半期)

(単位：百万円)

区分	前第1四半期 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	比較		前事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
	金額	金額	金額	伸率	金額
テレビ	46,264	45,937	△326	△0.7	186,189
タイム	21,570	21,122	△447	△2.1	87,900
スポット	20,984	21,218	234	1.1	83,606
コンテンツ	2,664	2,524	△139	△5.3	10,829
その他	1,045	1,072	26	2.6	3,853
事業	6,806	6,093	△712	△10.5	28,231
不動産	740	718	△21	△2.9	2,959
合計	53,811	52,750	△1,061	△2.0	217,381